

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	11
2. 大学等名	北九州市立大学
3. テーマ	Ⅱ. 学修成果の可視化
4. 取組学部等名	外国語学部 経済学部 文学部 法学部 国際環境工学部 地域創生学群
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要(※400字以内)	(367文字)
<p>今回の取組みでは、三層構造の学修成果の可視化という観点から、全学的教学マネジメントの改善にアプローチする。第1段階で、全学共通のAP・CP・DPを体系的に整理し、大学が求める人材育成のための基本的事項の整備を行い、FD・SDでフィードバックする。第2段階では、本学のDPに基づいた社会に必要な認知・汎用能力等を客観的に測定する学修到達度アセスメントを実施すると共に、自己管理システムを全学的に確立する。第3段階では、当大学の地域創生学群や地域共生教育センターで取り組んできた実践型教育の特色を活かし、各学部専門科目や学生が主体的に参加している実践型活動に対して、学修成果の可視化を多面的評価の導入などによって積極的に行う。加えて、社会への波及効果（ソーシャルインパクト）も含めて評価すると共に、全国の実践型教育へのモデル化を目指す。</p>	